



チェンマイ学校視察

タイのチェンマイにある2つの学校を訪問した。



一つは Dhammaraj School と言って、チェンマイの中心にある城壁に囲まれた Old Town の中にある。お寺の敷地にある中学と高校である。

生徒の半数が僧侶で、半数が一般の家庭から来ている。私立ですが、政府が100%援助をしていて、授業料は中学も高校も無料。ほとんどが貧しい家庭から来ているとの事。

タイ語、パーリ語(仏教の言葉)、ランナ語(タイ北部の言葉)、数学、理科、社会、仏教、家庭科、コンピューター、体育など授業がある。7:30 に始まり、3:30 に終わる。月曜日から金曜日までで1日7クラス、週35時間の授業がある。

この学校の高校2年生の日本語のクラスに参加した。7人の男子高校生たちのクラスを Nuchjarin 先生が教えている。前半は私が7人に日本語で質問をしながら授業を行った。

10分以内のところから歩いてくる生徒が3人、20分以内のところからバイクでくる生徒が2人、バスで10分と2時間のところからくる生徒が2人。兄弟は2人が3人、3人が1人、4人が1人、9人が2人と色々。両親共働きが4人、父だけが4人である。父の職業は日雇いが4人、公務員が2人、農民が1人で、母の職業は会社員2人、農民1人、日雇い1人である。日雇いは例えば建設関係だそうだ。



放課後の過ごし方は、お祈りをしたり、宿題をしたり、サッカーをしたら、ゲームをしたり、友達の家に行ったり、ジョギングをしたり、掃除や夕飯を作ったりと様々。放課後の勉強時間は大体1時間位とのこと。

将来なりたい職業はガイドか通訳が2人、英語の先生、エンジニア、バイクのレーサー、歌手と俳優、警官か軍人だった。この国の男の子にとって大学に行くよりもタイ士官学校に行くことの方が夢だそうだ。



タイ士官学校の学生

もう一つは昨年も訪問した Sridonchai Municipal School にお邪魔した。
昨年は 3 月に訪問し、学期の最後授業は終了し、テスト期間であった。



学校は 8 時に始まり、お祈りや学活があり、8:30 から 3:30 までが授業である。1 日 6 クラスで、昼食は食堂です。食費は国が支給。国は昼代だけ支給しているが、一部で早く来た生徒に朝食を支給している。

英語クラスは 1 年生～3 年生が週 1 時間、4 年生～6 年生が週 2 時間、7 年生～9 年生が週 3 時間である。選択で 2 時間追加することが出来る。選択クラスは英語の他に、音楽、園芸、紙作り、提灯作りから選べる。今回はこの選択英語クラスに参加してきた。7 年生～9 年生が約 25 人 1 クラスで 2 時間授業を一緒に受ける。

通常の英語のクラスは国から支給される教科書があるが、このクラスはない。先生がインターネットで教材を探し、モニターから映していた。この学校も貧しい家庭からの生徒が多い。中学校生になっても ABC から教えないといけない生徒もいるとの事。生徒一人一人に英語で質問を私にさせたが、クラスメートの助けもあり、恥ずかしながら英語で質問してくれた。明るく良い子たちであった。この生徒たちの成長も楽しみである。

